

ZOO かみね



34号 2003

日立市かみね動物園

動物と私

『飼育サポーターの経験』

佐々木富美江



小学生の初めての
写生大会、描いたのは
赤目の白ウサギ。私と
ウサギとの出会いです。
実際に触れたのはそ
れから何十年も後、飼
育サポーターの採用
面接の時。何の知識

もなく、抱きかたさえわかりませんでした。その私が幸運にも採用され今ではすっかりウサギフリークです。

ふれあい広場を訪れる人々に同じ感動を伝えたい、正しい認識で安心して触ってもらいたい、人と動物双方の安全を守りたい。そして思い出作りのほんの手助けが出来たら...そんな思いで勤務しました。動物は可愛く喜ぶ人々の笑顔や声が嬉しく励みになりました。

辛いこともありました。真夏の炎天下での業務。子供達の飽くなく好奇心と無邪気な悪戯。叱らない保護者。でも何より堪えたのは動物達の死です。それはちょっとした不注意であっけなく起こりました。

生と死の間でくり返される喜怒哀楽と心の葛藤。その全てを包む癒しのベール。僅か六ヶ月の勤務でしたが思いでは山のように。みな動物園が人々に癒しと微笑みを与え愛され続けるよう願っています。

『動物達に感謝』

吉田 早苗

私は、4月から11月まで、ふれあいサポーターとして動物園に勤務していました。応募の動機は『ウサギのお姉さんになる!』という単純なものからでした。



自宅でウサギを飼っていることもあり、動物達と仲良くなるのは問題なかったのですが、実は私、子供が苦手です。どんなふうに接すれば良いかが、わからなかったのです。でも動物達を通じて子供達と接するうちに苦手という意識も消え、とても楽しく働くことができました。ふれあい広場の可愛い動物達が私と子供達の心をつないでくれたのだと感謝しています。

11月いっぱいまでサポーターとしての仕事は終わってしまいましたが、今後もちょくちょく動物達に会いに行きたいと思います。

表紙説明

◆ モイロペリカン

ペリカン目 ペリカン科

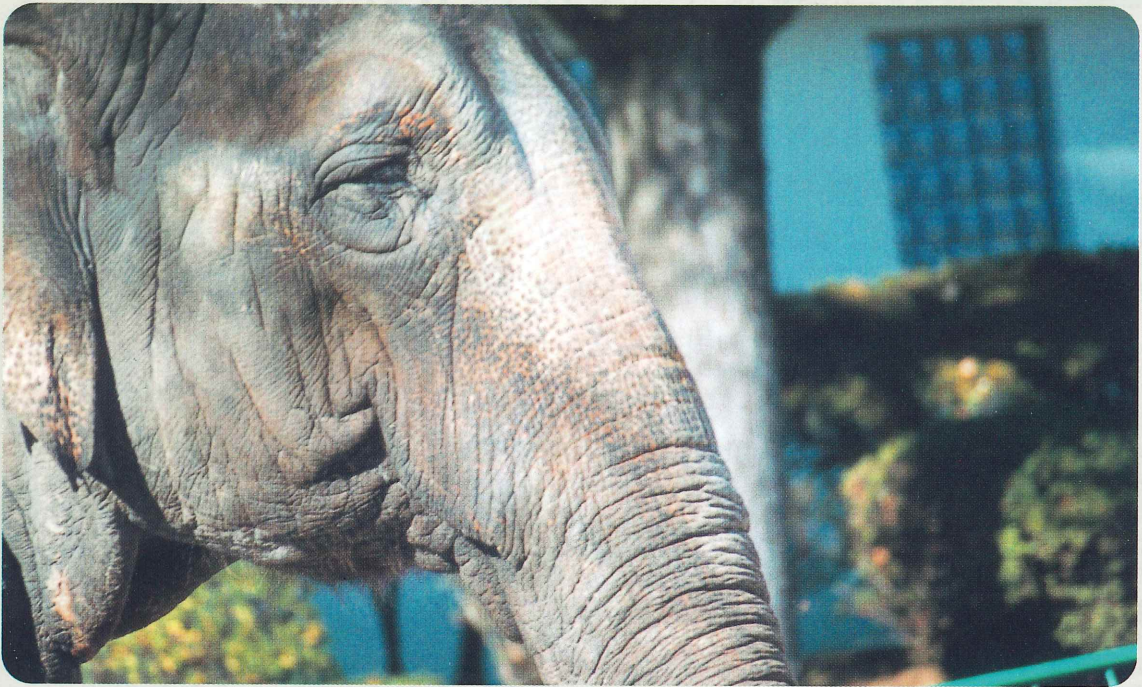
ペリカンは、大きなど袋で、水中の魚をすくうように捕らえます。当園では、4月頃繁殖期を迎え、羽の色が濃くなります。さつえい ひろ せたか こ さま だい かいしゃんてん 撮影 廣瀬隆子様 第2回写真展「かみねの仲間たち」大人の部 園長賞入賞作品

もくじ

動物と私	1
動物園の顔	2
飼育レポート①	3
動物園ニュース	5
飼育レポート②	9
特集 干支にちなんで	11
かみね動物園スポットガイド	13
ア・ラ・カルト／お知らせ	14

どう ぶつ えん かお

動物園の顔



アジアゾウ

ちょうびもく か
長鼻目 ゾウ科

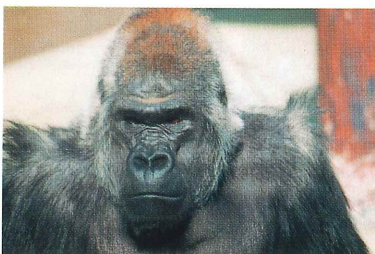
かみね動物園には、スズコ、ミネコのメスのアジアゾウ2頭がいます。ゾウはだいたい60年から70年くらい生きますが、2頭は共に21歳でお年頃といったところでしょうか。

ところで、「目は口ほどにものを言う。」とは良く聞きますが、ゾウも、怒り、喜び、哀しみなどの感情が目に出来ます。このミネコの写真は、気持ちのゆったりした落ち着いた目をとらえていて、ほのぼのとします。

撮影 太田健一郎様 第2回写真展「かみねの仲間たち」子どもの部 園長賞入賞作品

第2回写真展

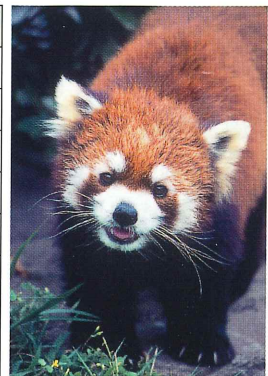
「かみねの仲間たち」入賞者



子供の部市長賞

※市長賞の作品は、来年度の入園券に採用されます。お楽しみに！

	賞	氏名(敬称略)	作品
大人の部	市長賞	鈴木美弥子(水戸市)	「見つけたっ！」
	園長賞	廣瀬 隆子(久慈町)	「大きなくちばし」
	佳作	田中まゆみ(城南町)	「たいくつな1日」
		廣瀬 泰和(久慈町)	「水中演技」
子どもの部	市長賞	太田 愛里(田尻小)	「強いぞ！ゴリラ」
	園長賞	太田健一郎(田尻小)	「かわいいぞうさん」
	佳作	秋山 遥香(諏訪小)	「チョコカワイイ！そんなひとみで見つめないで!!」



大人の部市長賞

Report

飼育レポート①

日立市内で確認されたアカウミガメの自然孵化について

まさ とう はる ひさ
正 藤 陽 久

はじめに

今年の10月9日、日立市内の海岸で、アカウミガメの稚ガメが海に向かって歩いているのを市民の方が発見し、翌10日にかみね動物園に連絡がありました。動物園では早速現場へ向かい、発見者の方と合流して孵化の状況を聞き取り調査し、また、

10月18日に掘り出し調査をしましたので報告します。なお、今回の自然孵化は、日立市内では初めて確認されたもので、自然孵化としては最北限の記録になるものと思います。

孵化場所

日立市東金沢町1丁目23番22号付近の、車道と砂防堤で隔てられた砂浜で、堤から3m50cm、波ぎわから約30mの地点でした。

孵化状況

10月9日、数匹の稚ガメが海に向かって歩いているのを発見し、翌10日の午後3時頃再び現場を訪れると、約30匹の稚ガメが穴からはい出し海に向かうのを確認したとのことでした。

掘り起こし調査

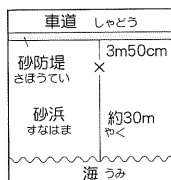
孵化を確認した日から9日目の10月18日に孵化場所の掘り起こし調査をしました。スコップとフルイで砂を少しずつ取り除いていくと、深さ45cmのやや湿った砂の中から孵化したあとのカラが出てきました。さらに掘り進めると孵化しなかった9つの卵と孵化後死亡した2匹の稚ガメを含め、たくさんのカラを掘り出すことができました。孵化しなかった卵を1つ割ってみると、黄身のままであり無精卵であることが分かりました。残りは動物園に持ち帰り調べることにしました。尚、当日の気温は21℃、砂中温は、深さ50cmの所で20℃でした。

計測

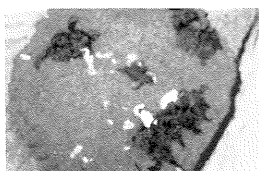
無精卵9つの直径は37~38mmでした。また、重さは、現場で割った1つを除いて、28.25g、28.99g、20.10g、16.10g、28.12g、24.97g、32.21g、22.89gで平均すると、25.20gでした。掘り出した稚ガメは図のとおりです。



自然孵化のあった砂浜



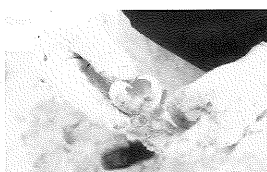
孵化地点



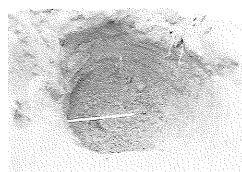
穴から出てきているところ
写真提供 田崎廣行さん



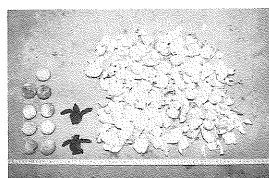
発見者の方々、長グツをはいている方が連絡者の田崎廣行さん



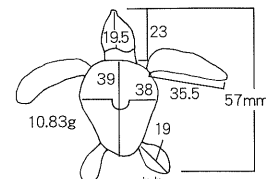
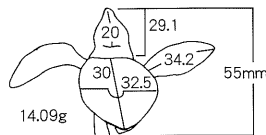
無発生卵



温度の計測



掘り出した卵、カメ、カラ



カメの大きさ

産卵数の推測

掘り出したカラから産卵数を推測して孵化率を求めてみたところ、産卵数は109個、孵化数は100個、孵化率は、約92%であったことが推測できました。

推測の方法は、以下のとおりです。

- ①掘り出したカラを水洗いして砂やゴミを取り除き自然乾燥する。
- ②カラのうち球形に復元できる物を見つけその平均値を求める。(卵1個分のカラの重さが分かる……0.597g)
- ③カラ全体の重さを量り(59.85g)②で求めた値で割る。(孵化した卵の数がわかる……59.85÷0.597≒100)
- ④③で求めた個数に無発生卵9個を足す。(産卵数がわかる……100+9=109)
- ⑤③の値(孵化数)÷④の値(産卵数)で孵化率を求める。(100÷109≒0.917 約92%)

考 察

推測値ではありますが、109個の産卵数は、ごく平均的なものであったといえます。また、孵化日数は、温度により50～80日位といわれますが、孵化率が92%と高かったのは、今年の夏は暑い日が続き、砂中温が高温に保たれていたためだと考えられました。ただし、24℃より低いと卵は死んでしまうとの報告があり、気温24℃以下が続いた日があったため、気温と砂中温は同じとはいえませんが、検討する余地が残りました。参考までに日立の気温について表記しましたが、気温と砂中温の関係について今後調べてみるのも面白いと思いました。

日立市の平均気温

日立市天気相談所調べ

	7月、()内は7/20～31の平均	8月	9月	10月、()内は10/1～9の平均
今年2002年の平均気温	25.0℃(26.2℃)	25.6℃	21.2℃	17.0℃(20.1℃)
平年の気温(1971年から2000年までの30年間の平均)	22.9℃	24.8℃	21.6℃	16.6℃

最後に

日立市内では、これまでもアカウミガメの産卵はありましたが、産卵場所が波にさらわれてしまう危険があったり、温度が保てないなどの理由で、動物園に持ち帰り人工孵化した後に海に戻していました。今年もお隣の十王町で産卵がありましたが、適当な場所で無かったため動物園で人工孵化して海にもどしています。今回の例は、条件が良ければアカウミガメ産卵の北限域である日立の海岸でも自然孵化が可能であることが実証された貴重な記録となりました。

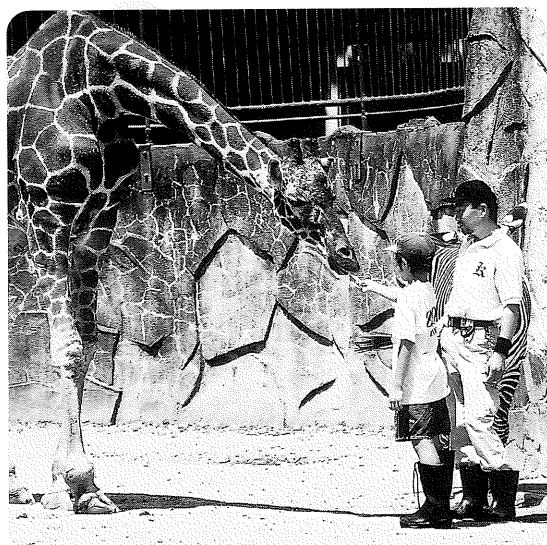
アカウミガメは日本の海岸を主要な産卵場所とするウミガメですが、乱獲や環境汚染などにより減少し、現在は保護されています。今回の自然孵化は日立の豊かな自然とそれを守るために砂浜の清掃作業などを行ってきた住民の方々の成果とも言えると思います。



動物園



ウマ（干支）パネル展開催



子供達から餌をもらうミキ
（サマースクールにて）

平成14年

- 1/2～31 ウマのパネル展・動物達に
年賀状を書こう展示開催
- 1/16 アミメキリン死亡（愛称：ミキ・
メス飼育年数22年7ヵ月）
老朽化により類人猿舎シン
ボルタワー解体工事開始
（2/26まで）
- 1/20 第1回スポットガイド開催
（アジアゾウ）以後毎月第
2土曜日開催
- 2/6 クロサイ繁殖
（メス：1頭・1週間後死亡）
- 2/17 チンパンジー死亡
（愛称：ロンタ・オス11才、
マツ・メス32才）
- 3/12～4/7 パネル展「日本の自然～
沖縄の生き物達～」開催
- 3/25 エミュー搬出
（オス：1羽、メス：1羽）
- 3/26 ヨーロッパアカリス搬入
（メス3頭）

ニュース



4/2 ^{しいく}飼育サポートとして女性^{じょせい}2
^{めいさいよう}名採用^{ねんど}(^{がつ}14年度11月まで)

4/8 ^{はんしよく}シバヤギ繁殖
(オス：^{とう}1頭、メス^{とう}1頭)

4/8 エリマキツネザル^{はんしよく}繁殖
(^{とう}1頭)

4/9 ^{せいじゅう}ロバ(成獣メス) ^{さくてい}削蹄

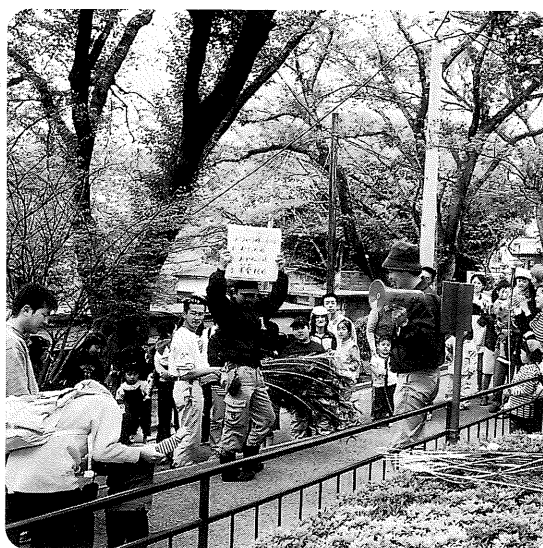
4/17 ^{はんしよく}ニホンザル繁殖
(^{ことし}今年の^{とうめ}1頭目。^{ことし}今年^{ぜん}は全
^ぶ部で^{とうはんしよく}14頭繁殖)

4/28 ^{かいさい}ちびっこまつり開催
(5/6まで)

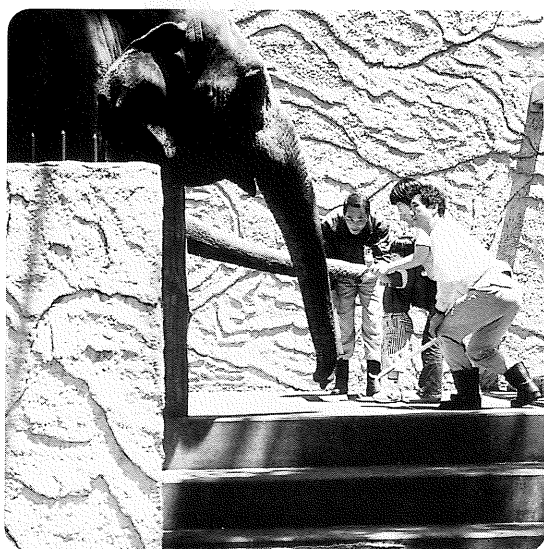
5/19 ^{だい}第^{かい}1回^{かいさい}ぞうサンデー開催
(^{まいつきだい}毎月第^{にちようび}3日^{にち}曜日・^{かいかいさい}1日^{かい}2回開催)

6/24 ※^{せんだいし}ロバ、^{やぎやま}ブリーディングロー
ンで^{どうぶつこうえん}仙台市八木山動物公園
^{はんにゆう}より搬入
(^{あいしょう}愛称ダイゴロウ：オス)

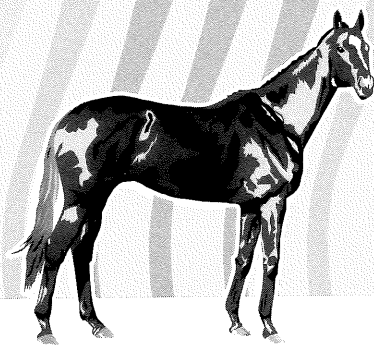
※ブリーディングローン
^{はんしよく}繁殖を目的とした動物の^{もくてき}貸借^{どうぶつ}(^{たいしゃく}たいしゃく)



クジャクイズ!!
^{こた}答え^てがわかる^あチビッコ手を上げて
(スポットガイドにて)



^{はじ}初めて^{さわ}ゾウに触ったよ!



動物園

平成14年



サマースクール
みんな聞き入っています



アカウミガメ放流
「大きくなって戻ってきてね」

7/1 第27回動物愛護に関する標

語園内作品募集 (7/31まで)

7/20 特別展「世界のカメ展～も
しもしカメさん大集合～」

(8/18まで)

7/22～23 第27回サマースクール開催

7/24 クロサイグランド改修工事

(9/24まで)

8/2～4・11～13 夜の動物園開催

8/3 アカウミガメの卵保護
(十王町伊師浜海岸)

8/17 シバヤギ繁殖 (オス：1頭)

8/28 ギンケイ (メス：1羽) 釧路
市動物園より無償譲渡搬入

パラワンコクジャク

(オス：1羽) よこはま動物
園よりフリーディングロー

ンで搬入

9/15 一般公募による

一日飼育体験実施

(市内外より14名参加)



ニュース



9/21 シシオザル^{しばう}死亡

(愛称: ツカサ・

オス飼育年数8年)

10/1 シバヤギ^{はんしよく}繁殖 (メス: 1頭)

10/2 台風21号の影響で園内の樹
木倒れる。また、クロコシ

ジロウミツバメ、オースト

ンウミツバメを保護

アジアゾウ血液検査実施

10/10 アカウミガメ河原子海岸で

自然孵化 (市内での自然孵

化の確認は初めて)

10/12 アカウミガメ人工孵化した

39頭放流会実施

(十王町伊師浜海岸)

10/13~14 動物園おもしろガイド~見

て聞いて触って楽しむ新発

見~開催

10/15 TBS系「動物奇想天外」取材

(アライグマ)

10/26 秋まつり開催 (11/4まで)



あき 秋まつり
しょうば たいけんたの
乗馬体験楽しいな



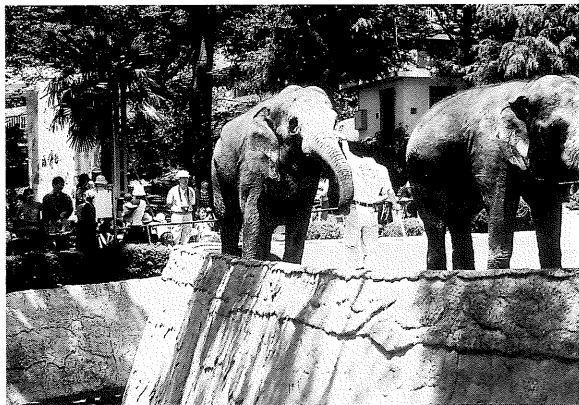
え と いっしょ
ヒツジ(干支)と一緒にハイチーズ!

Report

飼育レポート②

ぞうサンデーについて

たか はら かず ゆき
高 原 和 之

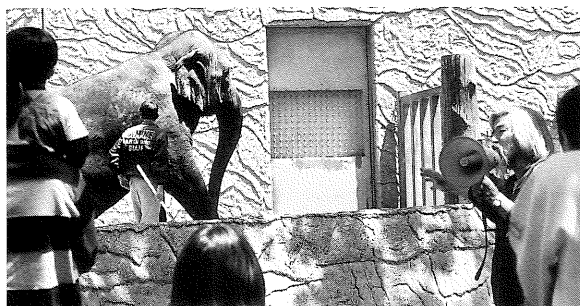


とうえん さくねん がつ だい にちようび
当園では、昨年5月より第3日曜日に「ぞうサンデー」を実施し、たいへん好評をえ得ていますので、紹介します。

実施の経緯

ねん がつ どうぶつ
2002年1月より、動物スポットガイド
じっし
を実施しています。これは、毎月第1回
だい どうようび つき が ひと どうぶつ しょう
第2土曜日に月替わりで1つの動物を紹

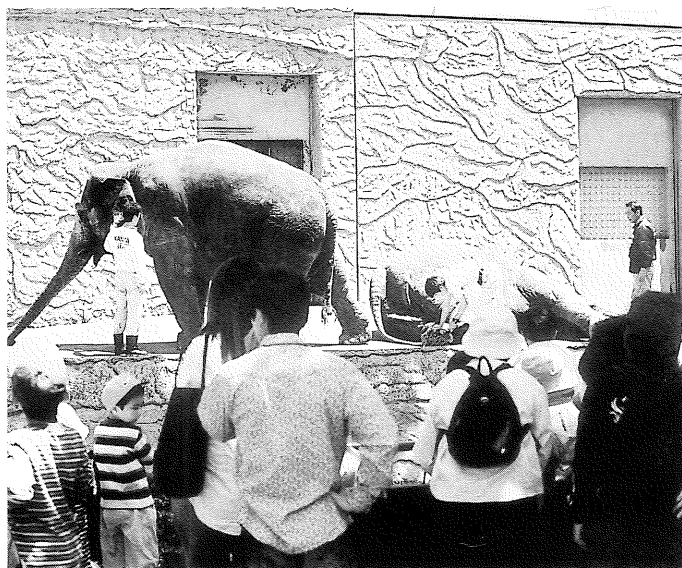
かい はじ きねん だい かい
介しようと始まりました。記念すべき第1回がアジアゾウということになり、普段の調
きよう ようす み きゅうじ たいけん
教の様子を見せたり給餌を体験してもら
ったりしたところ大好評でした。そのた
め、スポットガイドとは別に毎月第3日
ようび
曜日に「ぞうサンデー」という形で実施
することとなりました。



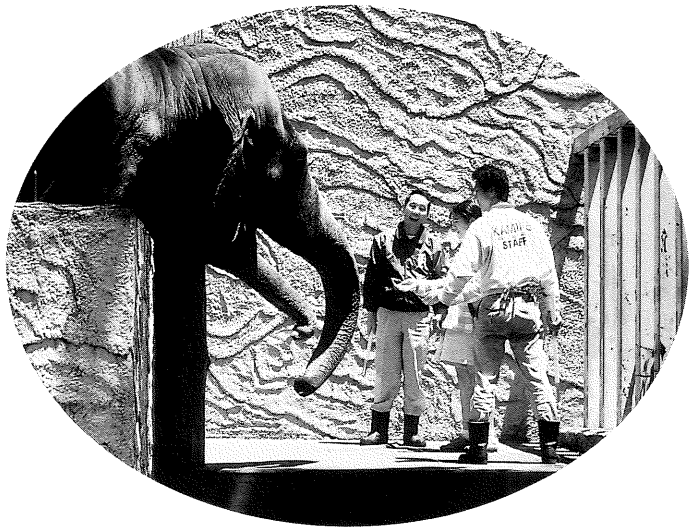
内容

とうえん
当園では、ミネコとスズコとい
う2頭のメスのアジアゾウを飼育
しています。この2頭は、毎日直
せつしゅう くねん う
接飼育による訓練を受けています。

とき くねん
「ぞうサンデー」の時はこの訓練
きゃく ひろう くねん
をお客さんに披露します。訓練に
は、おうが ほうこう あたまさ かたまえあし
横臥、歩行、頭下げ、片前足
お かたりようあし かたまえあし
折り、片両足あげ、片前足あげ、
さゆう かいてん しょうたい
左右回転などがあり、ゾウの状態



により^{くみ あ か}組み合わせを変えます。
 お客さん^{きやく}には、足の裏^{あし うら}や口の中^{くち なか}
 など^みを見てもらいます。この間^{あいだ}
 約10分、同時に1人が柵外^{さくがい}でそ
 の様子^{ようす}の解説^{かいせつ}やゾウについての
 説明^{せつめい}をし、また実物^{じつぶつ}のゾウの歯^は
 に触^{さわ}ってもらったりもします。
 人間^{にんげん}とは違う歯^{ちが}の大きさ^{は おお}や構造^{こうぞう}
 の違い^{ちが}に、お客さん^{きやく}は皆^{みな}一様^{いちよう}に
 驚^{おどろ}きを見^みせます。



一通^{ひととお}りの解説^{かいせつ}が終わると、お客さん^{きやく}に餌やり^{えさ}を体験^{たいけん}してもらいます。ゾウにいたずら
 されない安全^{あんぜん}な距離^{きょり}を保ちつつ、柵越^{さくご}しに行^いきます。1回^{かい}で100名^{めい}近くのお客さん^{きやくさん}に参
 加^かしてもらっています。できるだけたくさんのお客さん^{きやくさん}に参加^{さんか}して頂^{いた}きたく、約15分^{やくふん}か
 ら、時^{とき}には30分^{ぶん}近く行^いくこともあります。餌^{えさ}をやりながら、ゾウの鼻^{はな}にも触^{さわ}ってもらっ
 ています。普段^{ふだん}できない体験^{たいけん}だけに、「堅^{かたい}い」「ざらざらしている」「毛^けが生^はえている」
 「恐^{こわ}い」など、たくさん^{ひめい}のうれいし悲鳴^きが聞^きこえます。



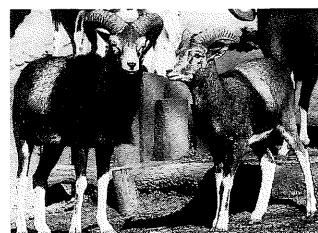
さいごに

これまでたくさん^{こう}の好
 評^{ひょう}を頂^{いた}てきた「ぞうサ
 ンデー」を、これからも、
 人間^{にんげん}とゾウとの関係^{かんけい}をよ
 り良^よく保^{たも}ち、少^{すこ}しでも長^{なが}
 く、お客^{きやく}様に親^{した}しんでも
 らえるよう努力^{どりよく}していき
 たいと思^{おも}います。

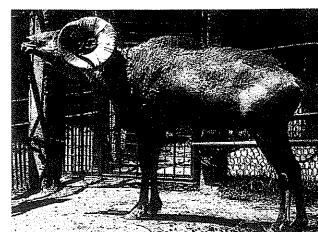
特集 干支(ヒツジ)にちなんで

ヒトとヒツジ

ヒツジ(家畜)はおよそ1万年前に西アジアや中央アジアに住んでいた野生のムフロン、アルガリといった野生のヒツジを飼い馴らしたものです。ヒトに馴らされ改良が加えられてアジア全域、アフリカ、ヨーロッパへと広まり、近代には新大陸のオーストラリアやニュージーランドなどにも持ち込まれ今では世界中でヒツジが暮らしています。日本では日本書紀に百済(今の朝鮮)からヒツジが贈り物として届けられたと書かれています。今では世界中に1,000種以上のヒツジがいます。



ムフロン



アルガリ

衣になるヒツジ

ヒトはヒツジと暮らすなかではじめはヒツジの皮をコートにしていました。でも、ヒツジの毛が糸になることを発見してからは、その毛を編んだり、織ったりして服を作るようになりました。暖かいセーターはヒツジからの贈り物です。



食になるヒツジ

ラムとかマトンとか聞いたことがあると思いますが、それはヒツジの肉のことです。頭からひづめまでいろんな料理にしておいしく食べられています。又、お乳は牛乳よりも栄養価が高くほとんどの成分が1.5~2倍以上も含まれています。普段



ヒツジのミルクを飲むことはほとんど無いと思いますが、フランスのブルーチーズ(青カビチーズ)、イタリアのホエーチーズ、リコッタチーズなどは羊乳チーズなんです。



住になるヒツジ

ヒツジの毛をフワフワにして広げて押し固めるとフェルトという布ができます。このフェルトの厚くて大きなものを木の骨組みにかぶせると大きなテントを作ることができます。これはモンゴルではゲル、中国ではパオ、トルコなどではユルトといってヒツジとともに移動して暮らす遊牧民たちの持ち運びできる家です。

楽器になるヒツジ

ヒツジの腸は羊腸ウイナーでおなじみですが、楽器の弦にも使われています。また外科手術の縫合糸、釣り糸、テニスラケットのガットにも使われています。gutsは内臓という意味の英語です。

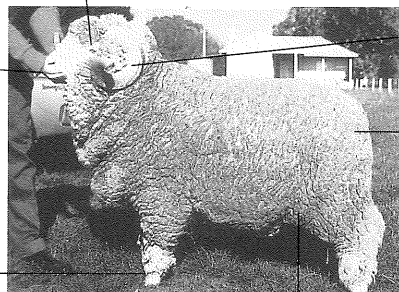
ヒツジは万能家畜

ヒトは、ヒツジからたくさんの恩恵を受けています。究極のところ糞までも燃料や肥料として使え、身体中使えないところはないといわれるくらいまさにヒツジは万能の家畜と言えます。

ヒツジを観察してみよう(オーストラリアンメリノー)

左右にわかれるくちびるを器用に動かして草を食べ、下あごの前歯と上あごの歯茎で草を噛み切ります。前歯は8本で下側しか生えていません。1年ごとに真中から2本ずつ乳歯が永久歯に生え変わります。

ひとみが横向きになっています。目が顔の横についているので、真後ろ以外は見えます。



ヒツジの祖先はカモシカの仲間、昔は角を持つたヒツジがたくさんいました。でも人間が改良をして今では角の無いヒツジの方が多くなっています。

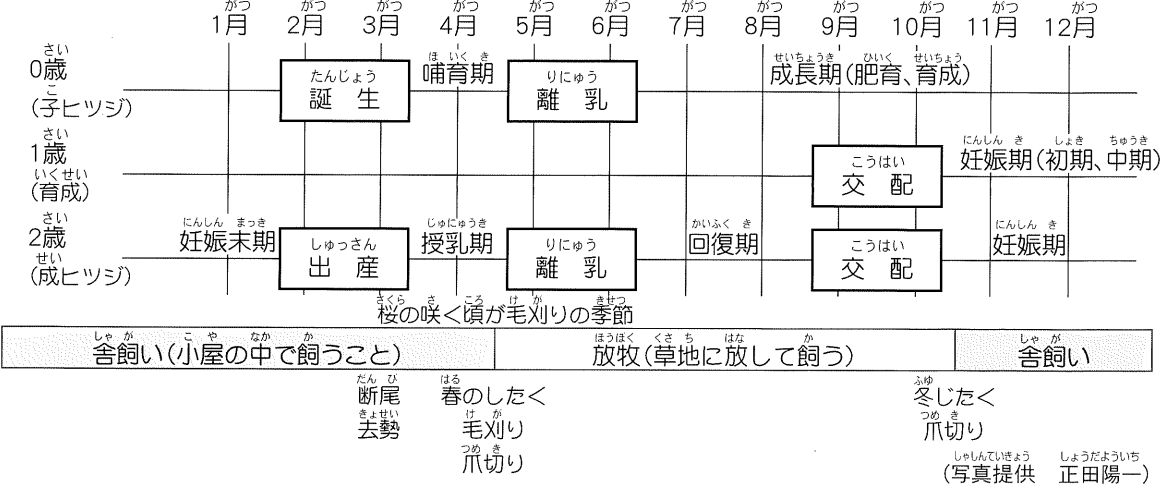
ヒツジは偶蹄目といってウシやヤギと同じように、ひづめが二つに分かれています。

ヒツジには眼の下とひづめの間と後ろ足のつけ根のあたりに、においを出す部分があります。(臭腺)。群れで生活するうえで役立っているようです。

しっぽはありません。本当は長いしっぽがありますが、毛が伸びてくると不潔になるので、赤ちゃんのうちに切ってしまうです。



ヒツジの飼育



かみね動物園スポットガイド

前号に掲載した「意見箱から」の記事で、かみね動物園に設置してある「動物園への意見」という箱に寄せられたお客様からのご意見をご紹介します。その中に、給餌パフォーマンスや動物ガイドの実施をして欲しいというご意見が多数寄せられ、昨年1月からひとつの動物を掘り下げて紹介するスポットガイドを実施することに致しました。毎月1回、第2土曜日の11時と14時に、10分から15分程度で実施しています。



クロサイグランド前で(3月)

過去に行われたガイド

1月	アジアゾウ	8月	キリン
2月	フンボルトペンギン	9月	ゴリラ
3月	クロサイ	10月	ウサギ
4月	クジャク	11月	ウミウ
5月	アメリカバイソン	12月	カバ
6月	ニホンザル	1月	タンチョウ
7月	ニシキヘビ	2月	レッサーパンダ

これからのガイドの予定

3月	トラ・ライオン	4月	パラワンコクジャク
----	---------	----	-----------



キリン舎寝室の探検(8月)

それぞれの動物の担当者が、独自のいろいろな趣向をこらして行っているので、毎回違ったガイドが聞けて面白いです。クジャクの回は「クジャクイズ」と銘打ちクイズを行い、正解者にはクジャクの羽をプレゼントしました。ゴリラの回は、クイズはもちろん、餌の展示や観覧者の目の前でオスメスの入れ替えを行い、たくさんの歓声が上がりました。また、第1回目のアジアゾウについてのガイドは、調教の様子や実際の歯を使った説明、給餌体験を実施したところ大変好評で、5月からは、新企画「ぞうサンデー」として、スポットガイドとは別に毎月第3日曜日に実施しています。これからもより一層がんばってガイドをしていきますので、みなさんも是非聞きにきて下さい。



かんもうご換毛後のバイソンの毛を触って(5月)

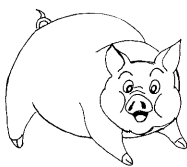


◆ ふれあい広場で聞かれること ◆

ふれあい広場にいます、たまに「この豚は本当にミニブタですか?」と聞かれることがあります。ズバリ! 本当です。かみね動物園のミニブタは、『ゲッチングン』と呼ばれる種類で、顔を見ると目の上には、ちょうど平安時代の人のまゆを思わせるブチがあり、この模様が一つの特徴で、なかなかあじのある顔つきをしています。

さて、話がズれてしまいましたが、みなさんが想像する「ミニブタ」の大きさはどのくらいでしょう。20kgくらいでしょうか? 動物園のミニブタは4頭いますが約40~60kgほどです。60kgになると少々太り気味ですが、ブタが200kgを超える大きさなので十分「ミニブタ」といえます。それでは、なぜ60kgにも太ってしまったのでしょうか。一言で言えば食べすぎです。動物園で用意するエサの他に、お客さんからお菓子をもらって間食しているのです。いく

らエサの量やカロリーを計算してあげても、これでは太ってしまうわけです。名実ともに「ミニブタ」になるには、みなさんの協力が必



要です。かわいいのはわかりますが、動物にはエサを与えないようにしましょうね。

◆ おねだり上手 ◆

アザラシ池に、父親「ゲン」母親「テン」娘の「ゴマ」の3頭のアザラシがいます。

夫婦のゲンとテンは、青森県の浅虫水族館で保護され、平成6年6月10日に当園にきました。3頭の家族の中でゲン父さんは、給餌の時には急いで餌をもらいたく、拍手やお回り等の芸を盛んにして、大好物の魚をおねだりします。拍手は、プールの中で人間がお風呂に入った格好で短い両手をバシャバシャと音をたてながら水しぶきを上げます。お回りは、水の中で体をクルリクルリと回転させて餌を急いで「頂戴よ」と、言っているように何回もおねだりをします。

愛嬌のあるまんまるい目で担当者の姿を追い掛ける、そのしぐさを見ていたお客さんも「可愛い」「すごーい」と声を上げて拍手を送ってくれます。

みなさんも来園の際には、ゲン父さんの「おねだり上手」振りを見にきて下さい。

* 餌は、午前10時ごろと、午後1時ごろの2回です。



***** お知らせ *****

行事案内(予定)

さくらまつり	4/1~中旬
ちびっこまつり	4/27. 29 5/3~5
サマースクール	7月下旬
あんどんまつり	8/1~17
夜の動物園	8/1~3 11~13
特別展	8/1~17

1日飼育体験	9/15
かみね公園秋まつり	11/1~3

飼育動物点数 (平成15年1月1日現在)

哺乳類	52種307点	爬虫類	6種 29点
鳥類	39種198点	合計	97種534点

●休園: 毎週月曜日(但し月曜日が祝日の場合は翌日が休園。春休み、4月、夏休みは無休)、年末3日間、元日。

ZOOかみね34号

発行日 2003.2.15

編集・発行

日立市かみね動物園 日立市宮田町 5-2-22

TEL (0294) 22-5586 FAX (0294) 22-5596

URL <http://www.jsdi.or.jp/~kaminezo/>



ふれあい教室のご案内

こんなこと

えんそく こうがいがくしゅう いっかん
遠足や郊外学習の一環として
ふれあい教室を開催してます。



かわいい

ウサギやモルモット、
ヒヨコの正しい抱き方を教えます。

ポニーに乗ることができます。

(動物の体調により出ない時もあります)



みんなおいでよ!



どうすればいいの

でんわ まどぐち もうしこみ くだ ようよく せんちやくじゅん
電話か窓口で申込をして下さい (要予約、先着順)

か き ようこう うけつ かいさいび ど にち しゅくじつ のぞ
下記の要項で受付けています。開催日 (土、日、祝日は除きます)

じかん
時間 ①10:30 ②10:50 ③11:10 ④11:30

しょうじかんやく ぶん がつ がつ
(所要時間約20分) (4月から11月まで)

たいしょう はいくえん ようちえん しょうがっこう こどもかいだんたい
対象は保育園、幼稚園、小学校、子供会団体など

さんかひ むりよう うてんちゅうし ひろば しょうじかいさい
(参加費無料、雨天中止) 広場は常時開催しています。

うけつ れんらくさき
受付連絡先

☎ 0294(22)5586
● FAX 0294(22)5596